

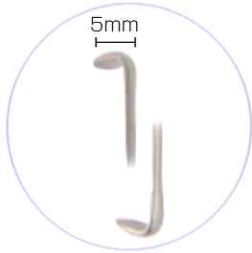


フレキシブルサイナスリフト ドイツ製インスツルメント

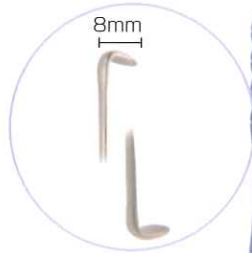
Dr. Manfred Lang 考案

材質
ハンドル部：ポリエーテルエーテルケトン
金属部：ステンレス鋼

スイングリフト1



スイングリフト2



スイングリフト3



オートクレーブ対応 (135°C)

軽くて持ちやすいハンドル

先端からシャンクまで
適度にしなる

開窓部内側を剥離しやすく
傷つけにくい先端形状



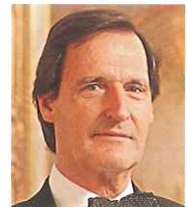
ウィンドーを開ける際の上顎洞粘膜(シュナイダー膜)を損傷していることがあるため上顎洞から剥離するには注意が必要である。剥離の際は一番小さなスイングリフト1の90度屈曲より慎重に始める。



1ミリ程度の剥離ができればスイングリフト1の反対側の105度屈曲に替え、立体的なスペースを作るように進める。



スイングリフト2に替えて90度屈曲部から始め、少しスペースができれば105度屈曲の反対側に替え進める。スイングリフト3も同様に行う。



Dr. Manfred Lang
Managing Director of
The International
Training Centre for
Dental Implantology

■ フレキシブル サイナスリフト 医療機器届出番号：13B1X00133000055

スイングリフト1、スイングリフト2、スイングリフト3 標準価格 15,000 円/本 (税別)

非常にフレキシブルなインスツルメントである。ハンドル部はしっかりとした形状、材質であり、そこから先端に向かって適度な弾性があるシャフトが始まり、さらにより弾性のある先端へとつながる。従来品の中には先端のみフレキシブルなものも多いが、このインスツルメントはシャフト部にもある程度柔らかさがあり使いやすい。この部分が固いと粘膜を剥離するときに骨の微小な凸部を感じできず粘膜の裂開が生じることとなる。

また先端の厚みに注目してほしい。厚すぎず、薄く鋭利すぎず、理想的な厚みである。

特徴的な先端の形状は直視できない開窓部内側を剥離しやすく傷つけにくい形態となっている。これらのことからサイナスリフトには必要なインスツルメントであると思う。



たかみね 歯科医院 院長
日本口腔インプラント学会専門医
高峰弘二先生

*本記事は、先生のご経験に基づくものであり、効能・効果等を保証するものではありません。ご使用の際は、添付文書等をよくお読みください。

記載されている価格に消費税は含まれません。また、商品の内容・価格・仕様・デザイン等を予告なく変更する場合があります。無断転載禁止。

お問い合わせは



販売元：クロスフィールド株式会社

〒130-8516 東京都墨田区江東橋1-3-6 TEL 03-5625-3306 FAX 03-3635-1060
URL : <http://www.crossf.com> E-mail : cf@yoshida-net.co.jp

製造販売元：株式会社吉田製作所